

平成 21 年 4 月 30 日  
大臣官房秘書課  
農林水産省改革推進室

## 食品の安全確保に関する一斉研修（一般職員研修）の実施結果について

### 1 研修の実施内容

- ① 目的：食の安全を最優先とする組織の実現に向けた食品安全に関する基礎知識の習得による職員の能力及び意識の向上
- ② 内容：講義を収録したビデオ（DVD、CD等）を、各自のパソコン又は会議室等に設置したモニタ等にて視聴することにより、研修を実施する。  
研修終了後、各自のパソコンより、受講確認及び効果測定のためのアンケートの回答をインターネットにより実施。
- ③ 期間：3月2日～3月31日
- ④ 対象：全職員（管理職を含む。）  
※ただし、本省消費・安全局職員、「本省職員専門研修」「地方職員専門研修」「幹部職員研修」の受講者及び平成20年度に食品の安全確保に関する研修を既に受講した者を除く。

### 2 結果

#### （1）受講状況

長期出張者、長期休暇者及び船員を除き、対象となる職員 21,346 人すべてが受講し、うち 20,867 人がアンケートに回答したことを各局庁から秘書課に報告。（4/20 現在）

#### （2）研修の効果測定に関するアンケートの回答状況

20,020 人分の回答をインターネットアンケートのデータを集計することにより確認。（4/20 現在。ただし、重複回答等の原因により、必ずしも正確な数字ではない。）

### (3) 問題点

- ① アンケートに回答していない職員が約1,300名おり、受講確認・効果測定ができない。
- ② 記名式のアンケートであったにもかかわらず、林野庁国有林野部管理課から氏名欄に「国有林」と記載してもよい旨の指示があったことを契機として、主に森林管理局において、約2,500人もの職員がそのように記入をし、個人別の正答率の検証ができなくなった。また、「国有林太郎」「林野太郎マン」「本人」「○×△□」「ABC」「NONAME」「国」「あ」「\*\*」「森林の守り人」「????」などと極めて不適切な記入をした職員もいた。
- ③ 森林管理局において、アンケートのデータ数が林野庁からの報告を上回る局があり、所属を変えて入力した可能性がある。
- ④ また、他の部局において、ごく少数ではあるが、本人の氏名を記載せず「匿名」「A」「書かない」「12345」などと不適切な記入をした職員がいた。

### 3 今後の対応

- ① アンケート回答者の中に氏名がなく、受講確認・効果測定ができなかった約1,300名について、各部局でその理由を徹底究明の上、当該職員を未受講とみなし、当該職員に対する研修をやり直すこと。
- ② 本庁からの不適切な指示があったとはいえ、本来、氏名を書く欄に森林管理局の職員の半数以上が一斉に「国有林」と記入したこと、また、氏名欄へ極めて不適切な記入を行った職員が他部局に比べて多かったことは、個々の職員の問題を超えた問題と考えざるを得ない。林野庁においては、研修のやり直しといった個別の措置にとどまらず、根本的な原因まで遡った抜本的な再発防止策をとりまとめること。
- ③ これらについて、次回の農林水産省改革推進本部において報告すること。